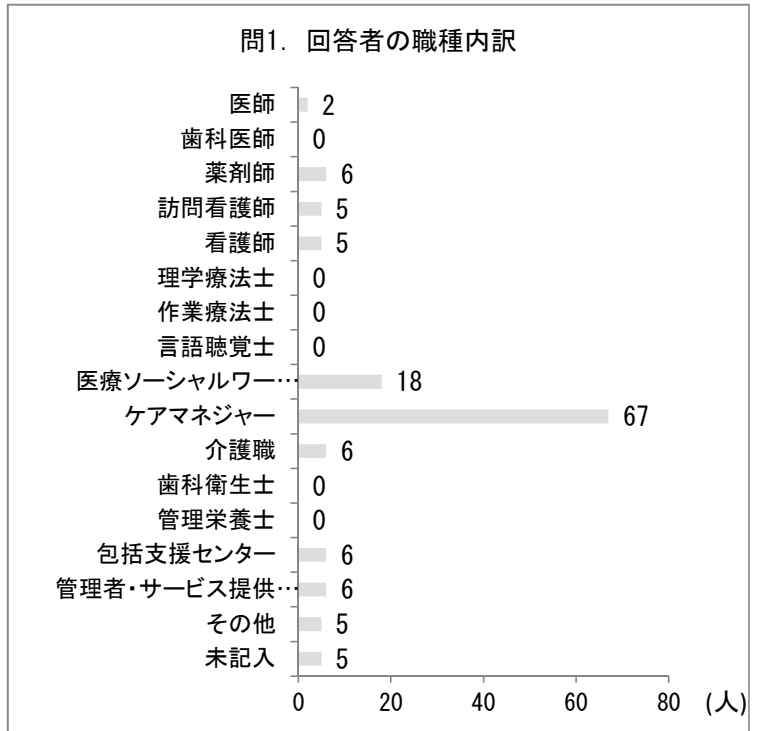


令和5年度 多職種連携研修（第2回） アンケート結果

回答者数（人）
131

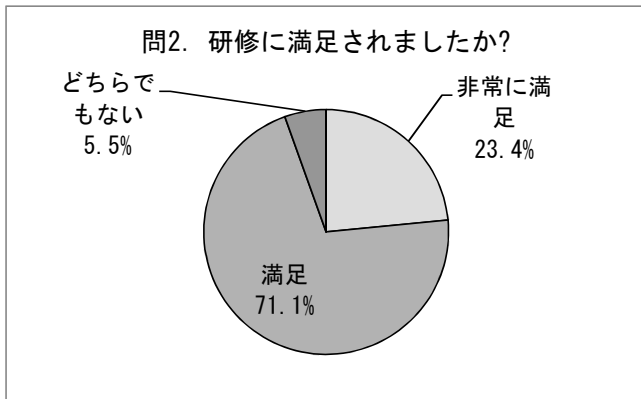
問1. 回答者の職種内訳

職種	人数	割合
医師	2	1.6%
歯科医師	0	0.0%
薬剤師	6	4.7%
訪問看護師	5	4.0%
看護師	5	4.0%
理学療法士	0	0.0%
作業療法士	0	0.0%
言語聴覚士	0	0.0%
医療ソーシャルワーカー・相談員	18	14.3%
ケアマネジャー	67	53.2%
介護職	6	4.7%
歯科衛生士	0	0.0%
管理栄養士	0	0.0%
包括支援センター	6	4.7%
管理者・サービス提供責任者	6	4.7%
その他	5	3.9%
未記入	5	



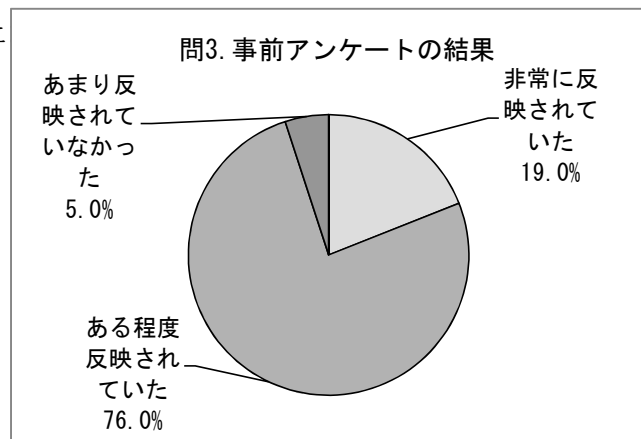
問2. 研修に満足されましたか？

項目	人数	割合
非常に満足	30	23.4%
満足	91	71.1%
どちらでもない	7	5.5%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%
未記入	3	



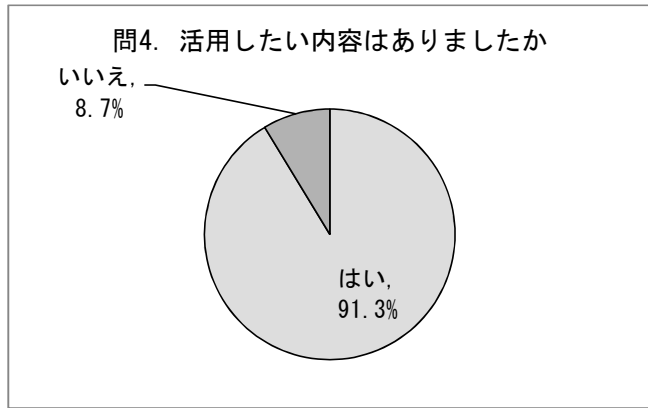
問3. 事前アンケートの結果が活かされていましたか？

項目	人数	割合
非常に反映されていた	19	19.0%
ある程度反映されていた	76	76.0%
あまり反映されていなかった	5	5.0%
まったく反映されていなかった	0	0.0%
未記入	31	



問4. ご自身の事業所、施設等で活用したい内容はありましたか。

項目	人数	割合
はい	105	91.3%
いいえ	10	8.7%
未記入	16	



問4. ご自身の事業所、施設等で活用したい内容はありましたか。

ガイドラインの内容の確認や、エンディングノート、支援シート、救急患者基本情報シートといった既存のものを活用したいという意見があった。また成年後見制度については、今回の研修で相談機関や身元保証に関する基本的なことを知り、相談先が分かったことで今後必要とする方への支援に活用したいという意見が多かった。そのほか、改めて困る前に事前に話し合っておくという意見もあった。

<ガイドライン>

- | |
|--|
| ・「ガイドラインと現場のギャップを埋めるための事例集の作成」を確認したい。 |
| ・ガイドラインをしっかりと読み込んで、まずは内容を把握し、今後役に立てたい。(3名) |
| ・各種ガイドライン・マニュアル等があることを知った。(4名) |
| ・身元保証時のガイドラインにしたいと思います。 |

<エンディングノート>

- | |
|---|
| ・エンディングノート (8名) |
| ・「身元保証、後見人、エンディングノート」新人ケアマネに伝えていく。 |
| ・本人が元気なうちにエンディングノートや病院に渡す資料を作成したいと思う。 |
| ・ACPの大切さを改めて感じたので、エンディングノートの活用をしたい。 |
| ・須賀さんのおっしゃった本人の意志決定を支えるAPC、エンディングノートなど、今すでにあるものをもっと活用したい。 |
| ・生活保護の独居の方に対して、早い段階で聞き取りをしておくことが必要だと分かり、今後エンディングノートなど活用しながら、聞きとった内容を記入していこうと思います。 |
| ・ご自身で自己決定できるうちに、エンディングノート等活用したいと思います。 |

<支援シート>

- | |
|----------------|
| ・支援シートの活用 (8名) |
|----------------|

<救急患者基本情報シート>

- | |
|----------------------|
| ・救急患者基本情報シートの活用 (5名) |
|----------------------|

<成年後見制度>

- | |
|--|
| ・任意後見人の相談先 |
| ・成年後見制度を利用するため、包括へ相談する。 |
| ・任意後見制度を利用する際に、実際に親切で低価格の事業所さんを教えてもらうことができた。 |
| ・後見人の依頼をかける時は、包括と市役所に相談に行きます。 |
| ・後見人制度、市役所、地域包括 |
| ・成年後見制度(3名) |
| ・今後、身元保証・成年後見が必要な方に参考になると思いました。 |
| ・保証人のいない方でも、法人として保証人や後見人と結び付けられるシステムがあるといいかなと思いました。 |
| ・困難事例の経過を色々聞くことができ参考になった。
任意後見の事業所もいくつか教えて頂いたので、いつか利用させてもらえたらと思います。 |

<相談機関>

- | |
|---|
| ・いろんなネットワークの事をもっと知りたいと思えたので、活用していきたい。 |
| ・相談先が分かり、独りで抱えこむことなく安心できた。 |
| ・相談機関があることがわかった |
| ・身元保証人がいない方や身寄りのない方の相談を市役所にしたことがなかったので、今後困った場合に相談したいと思いました。 |
| ・事業所内で相談し、一人で抱え込まない。包括に相談したい。 |
| ・包括支援センターさんとの連携、CMさんとの連携にてスムーズに行き、現状通りでケアしていければと思う。 |

<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方へ関わることがあれば、他職種と連携を深め、一緒に考えて行きたいと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・支援をしてもらえる機関の情報をもらった。この情報を自分の居宅に持ち帰り活用したい。情報の確認も併せて行きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・制度から外れるケース（意思決定できるが動けない）で、相談機関がない場合。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に相談する。
<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を得意とした訪問診療医を教えてもらった。
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で亡くなった生保でない、後見人がいないときは警察に連絡。

<その他>

<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証人がいない場合。（2名）
<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証人（4名）
<ul style="list-style-type: none"> ・保証人に医療同意が求められるケースがまだあるという話があった。必要ないことを周知していきたいと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの中で身元保証人のつなげ方の例があったので、今後活かしていきたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・保証人をたてる意義について
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識や事例を事務所内で共有したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・どういう人がどんな制度が使えるのか具体的に聞きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方への支援(5名)
<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方への支援について、マニュアル等作成は必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない人への支援の方法について活用したいと思った。（Jonsen四分画法、支援シート）
<ul style="list-style-type: none"> ・ACPは要介護になった段階、新規でうけた時など、一律でやるしくみを作っていた方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の判断能力がある間に今後について話を聞いておく。
<ul style="list-style-type: none"> ・困る前に事前に話し合っておく。
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ条件に当たる方が居らず。今後の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで同じグループ内の方々の悩みやその解決策を聞くことができた。今後、グループ内で聞いた解決策を活用していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・独居の在宅の方へのフォローに応用できるかも。
<ul style="list-style-type: none"> ・現場での困りごとを抽出してケアマネが事前に確認できる内容があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・担当する利用者さんへの支援の幅が広がる。
<ul style="list-style-type: none"> ・体験していない事を多く聞くことができました。
<ul style="list-style-type: none"> ・支援事業者の情報。
<ul style="list-style-type: none"> ・特に目新しい内容はなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内でマニュアル等を整備するといいなと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療以外、大変さが伝わり、さらに患者様に寄り添える医療の提供を行いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・後見人の強要と、いない場合の対応について確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護ケアの同意に関することで、訪問看護師として関わることも良いと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンが高齢化され、後見人制度をすすめていきたいと考えている。どのようにすすめていったらいいか？相談に乗っていただけた。そのようにすすめようと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の支払いなど

問5. 司法書士の講演を聞いて、もっと聞いてみたいことは何ですか？

成年後見制度の費用、手続きについて、いろいろな事例を知りたいという意見が多かった。特に金銭的に負担が難しい方の事例について詳しく聞きたいとの意見があった。その他として、身元保証団体や死後事務、よりよい話の進め方について知りたいという意見があった。

<成年後見制度の詳細>

・ 成年後見制度について (5名)
・ 費用関係の話。 (5名)
・ 司法書士さんに払うお金がどのくらい、どこから出ているか、ケース別に知りたい。
・ 後見人への費用と、お金のない方にはどうしたらよいのか。
・ 費用面。お金がない人がほとんどです。
・ 金銭的に余裕がない方々はどうすれば良いのか？
・ 財産等がなく、金銭的負担が難しい方の支援。
・ 契約能力がない方で、生保でもないが、お金がない場合はどんな対応ができるか。
・ 終活に関して、相続や成年後見制度について、どういった手続きが必要か
・ 相談→契約→支援
・ 後見人がつくまでの一連の流れ、手続き方法、後見人がついてからの細かい役割やCMとの連携内容。
・ 後見人等の手続き方法と、利用者様にどう説明するのか、分かりやすい案内はあるのか。
・ 後見人制度手続きについて

<具体的な事例>

・ いろんな事例を聞いてみたいと思いました。 (8名)
・ どっちももう少し時間をかけて事例を通してゆっくりと聞いてみたいと思いました。
・ 事例を交えた話が聞きたかった (イメージがわきやすいので)。
・ 事例をもう少し聞きたいです (特に在宅医療)
・ 具体的な役割や連携についての骨組み的な体制。
・ 実際に体験された事例についてゆっくりお話しが聞きたかったです。
・ 実際の医療・介護関係者からの相談ケースについて。
・ 身元保証人、身寄りのない方が増えているので、色々な事例を聞きたいです。
・ ガイドラインについて知らなかったなので、具体的事例に基づいたことも聞いてみたいと思いました。
・ もう少し具体的な内容が聞きたかった (事例)
・ 後見人などの対象にならない人などの体験談 (対応)
・ 実際に対応したケースの話が聞けることで「こういうことは相談していいんだ」と思えそうなので聞きたい。
・ 事例、判例で今後注意していくこと。
・ 法的なことに疎いため、保証人や身元引受人などが絡んだ事例を聞いてみたいです。

<感想>

・ もう少しゆっくり聞いてみたいです。
・ 内容がよく分からなかった。講義内容がよく分からなかった。
・ 分かりやすい講演でした。
・ すごく分かりやすかった。 保証人と聞くと責任を取らされる感じですが、それが無いのが嬉しい。
・ 早口であまり聞き取れませんでした。
・ 法律に基づいた話が聞けて、ためになりました。

<その他>

・ 死後事務のこと。(2名)
・ 司法書士によく聞かれることQ&Aが欲しい。 その他、職種の良い知恵を可視化していただきたい。
・ 身元保証人がいない場合のリスク、もう少し具体的に聞きたいです。
・ 支援の押し付け合いになった時のより良い話し合いの方法。
・ 具体的に話をすすめる方法
・ 適切な身元保証団体についてどこが該当するか。
・ 身元保証がないことを理由に入院・入所を断ってはならないとされていても、依然多い為、改善に進んでいく支援・施策とかはないか。
・ ケアマネがどこまで出来ることがあるか。
・ 身寄りのない人って、社会的に何故存在するのか？ システムのそうならないようなアイデアって何かないのかな？
・ 実際の活動
・ 支援者、関係者は早めに対応を勧めるが、本人はなかなか制度利用に至らず、結果、契約等がまとまらないうちに、変化が起きてしまうという事が多い。 早くから準備する気持ちにするには。
・ 財産管理について
・ 日常生活自立支援事業
・ 制度が難しかった。
・ 個別に相談できる機関があると良いと思いました。
・ 拒めないことが分かったが、どこに相談していけばよいか。
・ 身元保証の安全な業者の見分け方。
・ 後見人になる方によっても、支援をどこまでできるかが異なると思うことがありました。
・ 市内で直接相談ができる司法書士さん、成年後見制度中も青申でも通院に合わせて一緒に協力してもらえる司法書士さんを教えて欲しいです。

問6. 本日の研修へのご意見、今後企画してほしい内容がありましたらご記入ください。

身寄りのない人の支援について勉強になったという意見が多かった。
今後の研修の内容については、ACPやエンディングノートのほか、障害の方への支援やBCPなどのテーマがみられた。

<講演内容>

・ 今後の事、生活につながる事、自分自身も関係ある事なので、勉強になりました。この内容を活かしていきたいと思います。
・ 在宅支援機関や福祉機関など様々な機関で話し合っていきたいと思いました。
・ ちょうど支援している方で身寄りがいなくなり、困ってみえるケースがあったため、今日の講義、グループワークで考えることができ良かったです。ありがとうございました。
・ 今後も定期的にこのテーマを開催して頂き、一人でも多くの人に共有認識できると良いと思います。
・ 講義内容をもう少し吟味してほしい。
・ 身寄りのない方への支援について、初めてだったので勉強になりました。 一人暮らし登録など知らないこともありました。
・ 成年後見以外の方法など、地域として活用できる方法があるといい。
・ 今まで身寄りのケースに当たったことがないので勉強になりました。
・ 困難事例の話があり、参考になった。 事例について、色々話し合う事もできたらと思いました。
・ とても勉強になりました。

- ・今回とても良かったです。
家族がいない、家族仲が悪い人が多く不安でした。
災害時の対応も知りたいです。福祉職の人はその時どうするのか？

<企画してほしいテーマ>

- ・とても良かった。同テーマでパート2.
- ・身元のない方の支援について、どこまでやっていいか区別がないので、具体的に企画してほしい。
- ・ACPやエンディングノートの普及についての動きは盛んに行われていますが、そこに至るまでに重要な日常生活の中での意志決定の積み重ねについて、サービス事業所を対象にその手法と重要性についての研修企画があると良いと思います。
- ・ACPのやり方。書式。
- ・エンディングノートの具体的な内容について。
- ・生活困窮者の方への支援（身寄りのない方）について、多職種連携を絡めて事例を出しながら話を伺いたいです。
- ・お金がないけど生保にはならない人の保証について。
- ・障害の方への対応について、65才を迎えて介護保険に切り替わり、居宅へ依頼があっても、今までの支援内容や関わり等が分からないケースが多いため。
- ・BCP研修。各事業所の取り組み方。
- ・他職種連携研修
- ・医師や看護師などと日頃思っていることなどを話せたらと思います。
- ・精神疾患の家族との連携

<研修形式>

- ・今回、グループに病院の相談員さんがいましたので、普段聞けない事が聞けて良かったです（身寄りのない方の事例等）
- ・他職種の方との交流、情報交換ができていい時間でした。ありがとうございました。
- ・コロナで他機関の方とお会いする機会が減っていましたが、顔を合わせた研修に参加でき良かったです。
- ・他職種の方と話のできたので、良かったです。
- ・グループワークは色々な方の意見を聞いて良かった。
- ・少し講義の時間が短かったように思いました。
忙しく早口で話しておられ、十分に時間を取り、お話を伺えたらよかったです。
- ・先生方のお話はとても興味深いものでしたが、時間に追われていたので、もう少しゆっくり事例を交えた話が聞ければもっと良かったと思います。
ありがとうございました。
- ・近くの事業所さんと同じグループにさせていただけるのは、顔が知れているので良かったです。